

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 （届出者）の名称	アスティ開発株式会社
地球温暖化対策事業者 （届出者）の住所	名古屋市千種区京命一丁目1-32
工場等の名称	アスティショッピングセンター
工場等の所在地	名古屋市千種区京命一丁目1-32
業種	不動産業、物品賃貸業
業務部門における 建築物の主たる用途	物販店
建築物の所有形態	賃貸ビル等（賃貸している建築物）
事業の概要	ショッピングセンター賃貸借及び管理、運営
計画期間	2022/4/1 ～ 2025/3/31

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

公表期間	2024/7/1 ～ 2024/9/29		
公表方法		掲示 閲覧	（場所）
		ホーム ページ	（HPアドレス）
		冊子	（冊子名・ 入手方法）
		その他	（その他詳細） アスティ開発株式会社
公表に係る問合せ先	052-776-1001		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

- 1、ショッピングセンター全体での省資源、省エネルギー活動の取り組み。
- 2、廃棄物の分別の徹底と再資源化への取り組み。
- 3、店長会等での環境教育及び情報の共有。

（２）地球温暖化対策の推進体制

1) 地球環境委員会

委員長	アスティ開発株式会社	代表取締役	堀岡 隆宏
副委員長		支配人	村里 仁士
	ヤマナカ	アスティ店 副店長	高津 秀人
	あかのれん	アスティ店 店長	宮地 光代
		アスティスポーツマネージャー	松永 侑士
環境推進委員会			
議長		支配人	村里 仁士
環境推進委員			テナント店店長
			設備管理担当

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1, 292	t-CO ₂
（温室①を酸効除炭ガス換算）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）	1, 292	t-CO ₂

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
温室効果ガス総排出量	1, 501	t-CO ₂	1, 456	t-CO ₂	1, 387	t-CO ₂	1, 292	t-CO ₂	t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			3. 0	%	7. 5	%	13. 9	%	%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂	t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%	%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績				
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度		
原単位あたりの排出量									
削減率（対 基準年度）				%		%	%		%
原単位あたりのみなし排出量									
削減率（対 基準年度）						%	%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

*全体の温室効果ガスの排出量は抑制できたが、燃料別使用量では、重油が昨年より増えている。これは、昨年の夏の猛暑に対しＳＣの環境を維持する為、空調稼働率を上げた為である。
その反面、都市ガスの使用量はスポーツ施設のこまめな温度管理と又、夜間電機使用量は、食品スーパーの夜間冷蔵庫の電源OFF等の対応で使用量を減らすことができた。今後もこのエネルギーの使用量抑制施策を継続していく。

- 備考 1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考 2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考 3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考 4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

[illegible]

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 5 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区 分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電 力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 5 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

--

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--